

テーマ:音

駒込第一保育園(豊島区)

テーマを設定する

歌やリズム、楽器の演奏などが好きな子供たちなので、楽器や音に親しむ探究に取り組みたいと考えた。園に和太鼓があるので日常的に活用できるような音やリズムへの興味関心を広げ、音を楽しむ体験の機会にしたい。

活動① アーティストワークショップ1

いろいろな楽器に触れて鳴らして、音への興味を引き出す活動

環境をデザインする

●準備した物 トライアングル(人数分)、タンバリン(人数分)、ジャンベ、和太鼓、フレーム・ドラム、新聞紙、世界の小物楽器(レインスティック、コキリコ、カリンバ、マラカス、シェケレ、ティンジャ等)、身近な素材(サランラップの芯・風船等)で出来た楽器 ※小物楽器は使用時まで布で隠しておく

探究活動を実践する

●活動内容

- ①アーティストの演奏でお出迎え
- ②和太鼓の音色・リズムに親しむ
- ③トライアングルの音色の変化を探る～握って・離して、大きく・やさしく～
- ④和太鼓とジャンベを友だちと自由に叩く
- ⑤一人ひとつずつタンバリンを持って様々な演奏を試してみる(頭・おなか・背中にのせて/ジャンベの上にタンバリンを置いて叩く/絵本「めつきらもつきらどおんどん」のうたを歌いながら)
- ⑥小物打楽器を自由に鳴らす
- ⑦互いに好きだった楽器を伝え合う
- ⑧新聞紙で音づくり～くしゃくしゃにしたり、フレーム・ドラムに当てて音をたてたり～
- ⑨今後のマイタイコづくりに向けて、身近な素材(サランラップの芯・風船など)でできた楽器の音を聴いて終了

●子供たちの様子

・トライアングルのてっぺんを握る/離す、音はどうなると思う? と問いかけると「さいごまで鳴らないのかな?」「ぎゅってしたらちいさいおと!」「はなしたらおおきい音だ!」たくさんの予想、たくさんの発見があった。
・タンバリンをどう叩くか問いかけると、背中にあててカメ叩き・お腹でこすってタヌキ叩き・頭に乘せてカッパ叩き・片足立ちで膝を使ってケンケン叩きのアイデアが出てきた。

活動スケジュール(4歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:若鍋久美子(打楽器奏者)他1名	R6.10.16 (水)	80分 程度	19人
② マイ太鼓・マラカス作り 担任2名	R6.10.17 ~R6.11	60分 程度	20人
③ アーティストワークショップ2 講師:若鍋久美子(打楽器奏者)他1名	R6.12.3 (火)	85分 程度	20人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・タンバリンの叩き方を工夫してみたり、トライアングルの叩く場所によって音色が変わることを発見してみたりして、一つの楽器に対する興味が広がった。
- ・トライアングルも響く・響かないの違いに気づくことができていた。
- ・「正しい叩き方」から離れて、自由に叩く環境をつくることで、子供たちのこだわりや工夫が生まれていた。
- ・探究していく過程の中で、子供たちが音について自分の言葉で表現して伝えようとする姿に感動した。

テーマ:音

駒込第一保育園(豊島区)

活動② アーティストワークショップ2

※1回目のワークショップの最後に、アーティストが見本として見せた「身近な素材で出来た楽器」を参考に、2回目までに園でオリジナル楽器づくりを実施。散歩で拾った「オオモクゲンジの実」を小さいペットボトルに入れてマラカスや、筒状のものに米袋を打面として貼って太鼓を制作。

制作したマイ楽器などを使って、こだわりの音を探す活動

環境をデザインする

●準備した物 子供たちが制作したマイ楽器(マイマラカス・マイタイコ)、ジャンベ、フレーム・ドラム、世界の小物楽器(ピブラスラップ、マラカス、カシシ、ティンシャ、バードコール、カリンバ等)
※小物楽器は使用時まで布で隠しておく

探究活動を実践する

- 活動内容
- ①どこからか楽しげな音楽が…「自分の楽器持って、こっちにおいで～」マイマラカスを肩に下げ、マイタイコを手に持って、音を鳴らしながら子どもたち、会場へ
 - ②「素敵な楽器をつくったと聞いたので、楽しみにして来ました。〇〇さんの音は、〇〇さんにしか出せない。今日は、いろんな素敵な音を探したいと思います。」
 - ③みんなで輪になって、一人ずつマイ楽器の音を鳴らしてみる&聴く
 - ④マイタイコのお気に入りポイントを発表～音の感じ/叩き方、叩く場所/デザインへ
 - ⑤もう一度、一人ずつマイタイコを好きな方法で鳴らす&聴く
 - ⑥タイコチームとマラカスチームに分かれ、まめちゃん(アーティスト)の手と足の指揮で合奏
 - ⑦「今回は3つのグループ(※)ごとに、まめちゃんの持ってきた楽器でセッションしてみます」
※叩く系(ジャンベ、ピブラスラップなど)/シャカシャカ系(マラカス、カシシなど)/繊細系(ティンシャ、バードコール、カリンバなど)
 - ⑧まずは自由に鳴らしてお気に入りの楽器を探す
 - ⑨一人ひとつ楽器を決めて、グループごとセッション。演奏していない時はお客さん
 - ⑩最後はまめちゃんのジャンベがリードしながら、みんなでセッションを楽しんで終了

- 子供たちの様子
- ・マイ楽器のお気に入りポイントは？と問いかけると…「タイコは真ん中や端っこで、叩く場所で音が違うんだよ！」「真ん中はいい音！」
 - ・フレームドラムの中に種子や木の実を入れて左右に揺らしてみると…「雨の音が聞こえてくる」「風が吹く音」「飛行機が飛んでる音みたいだあ」
 - ・即興演奏にチャレンジした際、演奏が終わると…「歌が終わったみたいだあ」



振り返りをふまえた気づき

- 保育士から
- ・マイタイコのお気に入りポイントの発表は、事前に発表する内容を用意していたわけではなかったが、子供たちがそれぞれ好きなところをその場で発表できた。叩く場所が変わると音色が変わることにもよく気づいていて、制作時に試して叩く中で発見していたのかもしれない。
 - ・素直にやりたいことをやってみる、試してみる姿が沢山見られた。
 - ・セッションでは、叩く系・シャカシャカ系・繊細系それぞれのチームで、音楽や友達の鳴らす音の雰囲気を感じて演奏していた。
 - ・楽器を自由度が高く、いろいろな角度で楽しむことができた。初めて触れる楽器で最初は鳴らし方がわからなかった子も、試行錯誤する中で、音が鳴るようになり嬉しそうな姿もあった。